

ロジスティクス環境会議

第10回リバースロジスティクス調査委員会 議事録

- I. 日 時：2005年4月14日（木） 14：00～17：30
- II. 場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館2F ローズ
- III. 出席者：29名
- IV. 内 容：
1) 第7回勉強会
2) 第10回委員会（全体会）
3) 分科会
- V. 開 会
定刻、菅田委員長により、開会が宣された。
- VI. 第7回勉強会
以下のとおり、第7回勉強会が開催された。
「廃棄物・リサイクルガバナンスの強化と合理的コスト削減の同時実現」
（株）イーコス 遠藤氏
- VII. 第10回委員会・第6回分科会
1) 第3回本会議の報告
資料1に基づき、事務局より、第3回本会議の概要の説明が行われた。
- 2) 2005年度の委員会活動について
資料2に基づき、菅田委員長より、2005年度の委員会活動に関する説明が行われた後、基本的な活動内容とスケジュールについて確認がなれた。
※見学会については、次回全体会にて、上期の予定を確認する。
- 3) 各分科会の活動経過について
各分科会より、資料に基づき、調査テーマに関する検討内容について報告がなされた。
- (1) 物流分科会
- ① 木製パレットの再資源化、ダンボールのリターナブル化
東京都、木パレチップのボード化している（まんせい）、路線トラック連盟へ行って、ヒアリングを実施する
 - ② 宅配包装資材
 - ・大手宅配事業者に意見交換する
 - ・RFID活用を踏まえ、環境省に行ってみる
 - ・（株）コイケにプラパレの話聞きに行く
 - ・ビジネスフロー（B to B）を作成する

(2) 自動車分科会

中古部品、廃タイヤに絞り、6/末までに骨格を固める

- ①廃タイヤ
 - ・タイヤメーカーや団体にヒアリングする
- ②中古部品
 - ・乗用車主体で進める方向

(3) 家電・OA機器分科会

今年度の取り組みテーマ

第3回本会議、企画運営委員会の提案により、プラットフォームの調査依頼あった共同プラットフォームについて、改めて調査深掘りする。

分科会の進め方、月一で開催する。

(4) 食品分科会

これまでの調査内容レビューを行い、今後のテーマ、ポイント、5月に固めたい。

(1) 現状

- ①食品廃棄物の分類と廃棄段階
- ②産業廃棄物と一般廃棄物の区分による発生・処理状況
- ③流通段階ごとの発生状況
- ③再生利用状況
- ④食品リサイクル法との関係整理

(2) あるべき姿と提案

- ①環境調和型食品リバースロジスティクスモデル構築の対象範囲の設定
- ②加工食品の返品物流の実態整理によるニーズの把握
- ③事業の可能性の評価

(3) 対策案

- ①環境調和型リバースロジスティクスモデルの提案
- ②モデル事業実施に向けた課題

今後のスケジュールについて

(1) 第11回リバースロジスティクス調査委員会

■日時：2005年5月27日（金）14：00～17：30

■会場：日本通運(株) 会議室

VIII. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、菅田委員長は閉会を宣した。

以 上